



# 園だより[12月]



(ふじみこども園 HP)

令和7年11月28日

千代田区立ふじみこども園

## 「子どもたちの成長につなげるために」

園長 小林 晶子

街がイルミネーションで華やかにきらめき、間もなく師走を迎えます。早いもので、今年もあと1か月を残すばかりとなりました。

今年度、0歳児クラスは、12名定員のところ5名でスタートしました。徐々に新入園児が加わり、11月には12名が揃いました。ある日、0歳児クラスの部屋に行った時のことです。ひとりの子がクラスの玩具や担任の先生を指差して知らせてきました。そこにいた担任や私が「車の玩具だね」「○○先生ね」と反応すると、満足そうにして再び指差しを始めました。指差しに夢中で棚に気付かず“ごちん！”とぶつかって涙を浮かべて、しばし担任の元へ行きましたが、落ち着くとまた指差して玩具や担任を知らせていました。翌日、3階の踊り場で出会うと、“また会ったね！”というような表情で笑顔を向けながら、私を指差しました。その後、うきうきする一むで担任と一緒に音楽に合わせて踊り始めたところに混ぜてもらい、同じ動きをしていると、時々笑顔で見つめてきて“楽しいね！”と伝えているようでした。

また、別の0歳児の子ですが、登園時に玄関で手を振り合うことが日課のようになっている子がいます。朝、玄関に立っている時にいつも出会うのですが、いつのころからか手を振ると笑顔で手を振り返してくるようになりました。朝の楽しみのひとつです。

そのように、子どもたちの緊張がほぐれて園で安心して過ごす姿や一人一人のその子らしい姿・成長が見られた時、心が通じ合ったと感じる時に、何とも言えない温かな幸せな気持ちになります。

11月には、保育参加や参観、個人面談を通して、保護者の方と担任とでお子さんの成長やお子さんに応じた関わり方について話し合ったり共有し合ったりしました。子どもたちは、ぐんと成長を感じる時もあれば、停滞したように感じる時もあります。その喜びや悩みを共有して、今後に向けて考え合うことが子どもたちの成長につなげるために大切だと思うからです。また、ご家庭と園の関わり方の違いを感じる場面もあるのではないかでしょうか。参観日として設定している日以外にもお子さんの様子をご覧になりたい場合、担任と話をしたい場合など、お気軽にご相談ください。子どもを中心に据えて、どんなふうに育ってほしいか、お子さんに合った対応は何か、を保護者の方と一緒に考え合いたいと思っています。

## 《今月のねらい》

0歳児 はいはい組	○日差しの暖かさを感じながら、探索や体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○様々な素材（新聞紙や粘土など）に触れたり、指先の遊びを楽しむ。	
1歳児 とことこ組	○冬の冷たい風や暖かい日差し等、冬の自然を感じながら、戸外で体を伸び伸びと動かして遊ぶ。 ○「やって」や「ちょうどいい」等の簡単な言葉や身振り手振りで気持ちを伝えようとしたり、保育者や友達と一緒にまねっこ遊びやつもり遊びを楽しんだりする。	
2歳児 すくすく組	○脱いた衣服を畳んだり、上着を着ようしたりして身の回りのことを自分でしようとする。 ○自分のなりたいもの（お店屋さんや動物等）の真似をしたり、なりきったりすることを楽しむ。	
3歳児 ぼうけん組	短時間 保育	○自分の思ったことやイメージを言葉で伝えようとしながら場を作ったり、作った物を遊びに使ったりしながら遊ぶ楽しさを味わう。 ○健康に過ごすための大切なことを知り（手洗いや衣服の調整等）、自分でできることは自分でしようとする。
	長時間 保育	○思ったことやイメージしたことを表情やしぐさ、動き、言葉等で保育者や友達に伝えながら、自分のしたい遊びを楽しむ。 ○冬の季節の移り変わりを感じながら、必要な時に衣服の着脱や手洗い・うがいを自分でしようとする。
4歳児 わんぱく組	短時間 保育	○一人一人が自分の思いを出しながら友達と一緒に遊ぶことを楽しむ中で、相手にも思いがあることに気付いたり、受け入れようとしている。 ○ストーリーや自分の役に合わせた表現を動きや言葉で伸び伸びと表したり、同じ役の友達と声や動きを合わせたりする楽しさを味わう。 ○様々な楽器に親しみ、音の違いを感じたり、楽器の音や友達と歌声が揃う心地よさを味わったりする。
	長時間 保育	○季節の変化に伴い、衣服の調整や戸外活動後の手洗い等、生活の仕方や感染症予防の大切さを知り、丁寧に行おうとする。 ○年末年始の風習を知り、コマやかるた等の伝承遊びに親しんだり、身の回りのものを綺麗にしたりして期待をもって新年を迎える。
5歳児 ふあいと組	短時間 保育	○劇や合奏等、こども会に向けて学級や学年の共通の目的の中で、一人一人が思いや考えを言葉で表現するとともに、自分の役割に責任をもって取り組んだり友達と協力したりして、やり遂げた満足感を味わう。 ○冬に向かう自然の変化や年末の風景に关心をもち、生活や遊びに取り入れて楽しむ。 ○コマ回しや縄跳びなど、友達の姿を刺激にしたり、自分で目標をもったりして取り組もうとする。
	長時間 保育	○気温や運動量に合わせて自分で衣服の調整をしたり、風邪や感染症の予防に关心をもって丁寧に手洗いをしたりして、寒い季節を健康に過ごすための生活習慣を身に付けていく。 ○冬の行事や年末年始の過ごし方に興味をもち、コマやすごろくなどを友達と楽しむ中で伝承遊びに親しむ。
預かり保育りす組	○冬ならではの製作（編み物、コマ作り、季節の飾り作り等）やそれを使った遊びをしたり、飾り付けをしたりすることを楽しむ。 ○保育者や友達の姿から刺激を受けながら、徐々に自分でも寒さに合わせて衣服の調整をしたり、丁寧に手洗いをしたりして健康な習慣を意識するようになる。	

## ★CES 掲示板★

### 11月の目標

○資源や物を大切にする。(資源循環型社会、リデュース・リユース・リサイクル・リニューアブル)  
この目標に向けた園の取組をお知らせします。



空き箱を使って製作を楽しんでいます。捨てられるはずだった空き箱が、子どもたちの手にかかると素敵な作品に仕上がっています!ご家庭でも空き箱がありましたら、ぜひお持ちください。

製作で利用した箱や容器等もすぐに捨ててしまわずに、再利用ができるものを保育者が知らせると、その後は子どもたちから、「これも使えるよ!」と知らせるようになってきました。

### 12月の重点目標

#### 『身近な冬の自然に触れたり、取り入れて遊んだりする』

秋の気候の心地よさを感じたと思ったら、あっという間に冬が訪れました。園庭のイチョウもついこの間まで青々していましたが、寒さを感じるようになってから、葉先がだんだんと黄色く色付いてきています。

11月に紅葉してきたイチョウが12月には落ち葉になりそうですので、落ち葉が舞ってくるのを見てキャッチして遊んだり、食べ物に見立ててままごとに使ったりして、遊びに取り入れて楽しんでいます。身近な自然との触れ合いをきっかけに、自然に親しむようにしたいと思います。

#### 『身の回りの整理整頓をしよう』

1年の締めくくりである年末には、大掃除をして新しい年を迎える準備をすることを子どもたちに伝えたり、一緒に部屋等を掃除したりしていきます。この活動を通して、日頃からも身の回りの整理整頓をする心地よさも感じられるようにしていきます。